

ツルガ薬局 漢方症例 《 70代女性 坐骨神経痛・腰椎分離症 》

■ 2014年6月23日

「 腰椎分離症、坐骨神経痛と診断され、痛みと痺れが治らない 」

【訴え】

15年前に腰椎分離症と診断され、Drからは治らないと言われ、痛み止めをずっと服用している。今年の4月くらいに、右側が痛くなり、坐骨神経痛と診断。15年前からずっと、右も左も、足の指5本とも痺れている。

【状況・問診】

症状は、午前中はまだ楽、午後から夕方になってくると症状つらくなる(痺れ)。下半身、おしり～腿の裏、足先は痺れる。足先の痺れは、年中ずっとある。こむら返り(朝方)もする。梅雨・雨の日は痛みや症状強く出る。外風での症状変化はし。めまい、耳鳴り、口渇、頭重などは無し。外見は、細身の方。仕事は9時から夕方まで、ずっと立ち仕事(冬は冷える)。仕事休みの日は少し楽。便は少し硬いが毎日出る(ゆるくはない)。尿は、普通(薄くも濃くも近くもない)。食欲は普通とのこと。冷えは、下半身は足首より先は冷えるかなあ、というくらい。

【考察】

下半身、足先は「腎」の主るところ、長い立ち仕事は「骨・腎」に無理をかけます。細身で食欲はあるとのことですが、胃を中心に消化・吸収・身に付ける力は弱いことが分かりました。その結果、血が弱ってきます。筋肉は血の養いを受けています。筋肉が痩せてくることで、骨格を支えることが出来ず、痛み・しびれが出てきます。55歳閉経後、肝と腎の弱りも出てくる頃と重なっていることから、腎を温め、胃を中心に土台を強くして、血や肉が出来やすくなるよう漢方薬を2週間分処方。コンクレバン、バイランCa 6本ずつ購入。

【経過・結果】

- 7月8日 気のせいかもしれないが、15年間毎日あった痺れが、無い。 同じ処方1ヶ月
- 7月31日 痺れがほとんど無くなっている。痛みも以前より大変楽になっている。立ち仕事が楽になった。コルセット巻かなくても楽になってきた。漢方1ヶ月処方 コンクレバン・バイランCa 購入
- 9月4日 足の痺れは、もう一切無い
漢方1ヶ月分、コンクレバン・バイランCa1ケースずつ購入
継続服用中

漢方の専門相談は、ツルガ薬局の漢方専門相談スタッフまでお気軽にどうぞ♪